



かみかわ町議会だより

No. 64

令和3年
12月1日発行

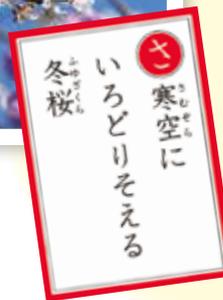


最終ページにかかるたの
説明があるよ

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



撮影者「フォーカス友の会」
小川 静男さん／伊藤 政雄さん



主な内容

- ◇令和3年9月定例会 令和2年度一般会計及び特別会計の決算を認定
令和3年度 // // の補正予算等を可決
8名の議員が一般質問を行う

議会の傍聴について

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

第7回定例会は12月 3日(金) [午前9時～ 一般質問等] から
10日(金) [午前9時～ 質疑・討論・採決等] を予定しています。

●編集 神川町議会運営委員会 〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
●発行 埼玉県児玉郡神川町議会 ☎0495(77)0707
<http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

9月定例会を開催

令和3年第5回神川町議会定例会は、9月7日から17日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された令和2年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定8件をはじめ、令和3年度一般会計及び特別会計の補正予算7件、報告2件、条例の改正等4件、契約1件、議員提案の意見書1件が審議されました。(議案一覧及び審議結果は12・13ページ参照)

一般質問は9月7日に行われ、8名の議員が町長をはじめ町当局の考えについて、質問しました。

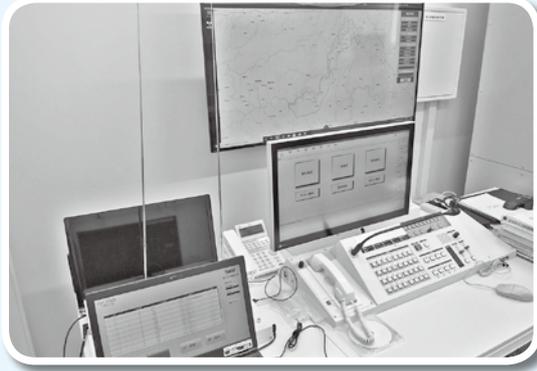
質問者	質問事項	質問要旨	掲載頁
柴崎 愛子	1. 令和4年度財源確保について	1 コロナ禍で国・県の支援が薄く地方自治体の税収不足を、どの様に町は乗り越えるかについて	4
川浦 雅子	1. 神川町の歴史について 2. 多目的交流施設と神泉総合支所について 3. 中学校校則について	1 合併20周年に向けての取組について 1 管轄課と利便性向上について 1 理解と認識について	5
桜沢 晃	1. 第2次神川町総合計画に基づく町政運営について	1 重点施策の達成度と評価について 2 今後の町政運営について	6
野口 弘吉	1. 町の災害対策について	1 土砂災害等への対応について	7
坂本 貴佳	1. 町道について	1 町道の維持管理について	8
廣川 学	1. 町の現状把握について	1 町の各施設及び機関からの情報収集について 2 コロナ禍での情報収集の変化について	9
赤羽奈保子	1. 町の防災・減災について	1 要支援者個別避難計画について 2 マイ・タイムラインの作成・推進について	10
四方田繁男	1. 森林環境譲与税の有効利用について	1 制度目的に沿った事業の実施について	11

一般質問とは、議員が町の現在の施策、将来の考え方や説明を町長などに求め、町民のための適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。



令和2年度の町の主な事業



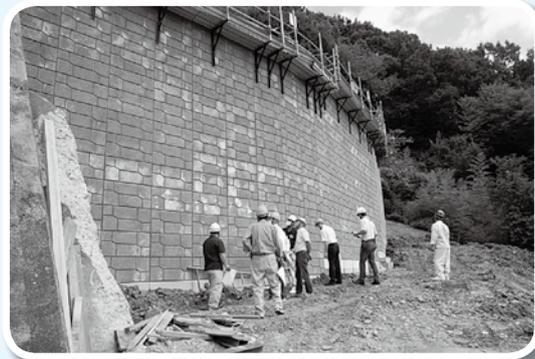
防災行政無線のデジタル化事業

防災行政無線同報系（情報を同時又は地区別に一斉通報する仕組み）のデジタル化工事を実施するとともに、荒天時の放送の聞きづらさを解消し、確実な情報伝達を目的に希望者には戸別受信機、聴覚障がいのある方には文字表示版を貸与。

台風19号災害復旧工事

令和元年10月12日に、非常に強い勢力で上陸・接近した台風19号によって、町内でも河川の氾濫や道路の崩落、農作物の冠水など、多くの被害が発生しました。

令和元年台風19号（10月12日～13日）豪雨により被災した河川1箇所及び道路施設3箇所の災害復旧工事は、令和3年3月末で全て完了。



令和2年9月11日の矢納地内の現地視察より



新型コロナウイルス感染症対策事業

住民のいのちと暮らしを守り、経済活動を支えるため、地方創生臨時交付金を活用し、庁舎や集会所、避難施設などの感染対策として、消毒液や空気清浄機、サーマルカメラなどを購入。また、町独自の中小企業者等への支援やプレミアム付商品券発行補助事業も実施。

学習用情報機器等整備業務

新型コロナウイルス感染症が広がるなか、全国の学校が臨時休校を余儀なくされたことを受け、「1人1台端末」を実現。併せて、町内小中学校LAN構築業務・モバイルルーター購入などの通信環境を整備。



議会だより第63号の「中学校のタブレットによる授業」より

一 般 質 問



柴崎 愛子 議員

令和4年度財源確保

◆コロナ禍の税収不足をどの様に乗り越えるのか

令和3年5月31日の東京新聞の記事を引用すると、『都道府県の貯金に当たる財政調整基金の残高が減少したのは、新型コロナウイルス対策費として大幅に取り崩したケースが多い。一方、財政調整基金が増加したのは、地方債の追加発行や別目的で積み立てた基金の統合などによって財政調整基金の減少を回避しただけで、実際の財政状況は見かけよりも厳しい。政府は、地方創生臨時交付金で手当てするものの、全国知事会は、2021年2月末時点で6000億円が不足している」と公表』がありました。

また、埼玉県町村議会議長会長より、『コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財政の

充実を求める意見書』の提出依頼もありました。

神川町の財源を考えたときに、令和3年度当初予算概要書では、自主財源34・4%、依存財源65・6%で、国、県の財源依存の高い状況から、「神川町は大丈夫です」と自信を持って言えないと考えますが、令和4年度の財源確保をどの様にするか、町の考えを伺います。

答え 町長

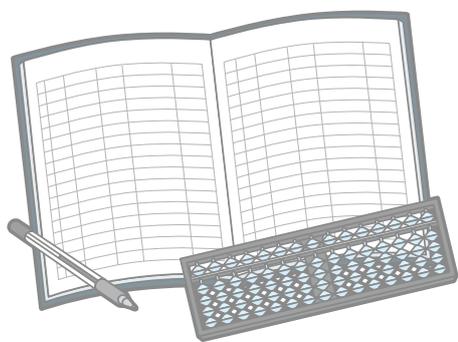
「財源が著しく悪化する事態にはなっていません」

町は、令和2年度中に新型コロナウイルス対策として約17億円の支出をしましたが、経費の多くは、国・県支出金を主たる財源としており、町の財政状況が著しく悪化する事態にはなっていません。

しかし、町では、公共施設再配置計画や、長期保全計画など

の計画により、保有する施設に対して修繕や大規模改修等を計画的に行ってまいります。今後公共施設の維持に相当な費用負担が見込まれ、また、予期しない財政支出があることも想定されます。

そのため、令和4年度も含め、将来にわたり健全な財政運営ができる予算編成を行うことが重要と考えています。



歳入面では、自主財源の確保に努め、活用可能な国・県補助金があれば積極的に活用します。また、後年度交付税措置がある有利な地方債を活用し、財源確保に努めます。

歳出面では、限られた財源の中で、ニーズや優先度の高い事業に重点化を図り、効率的、効果的な財政運営に努めます。



一般質問



川浦雅子議員

神川町の歴史

◆神川町の戦前・戦後のあゆみは？

今年には戦後76年です。旧神泉村、神川町合併20周年という節目に向けて、高齢者の証言も今なら集められるのではと考え、終戦前から戦後の歩みを、資料として残すことについて、町の考えを伺います。

答え 町長

「合併の行事は10年を節目とと考えています」

合併20周年に向けての取組については、10年ごとの節目で記念行事をやるのがいいのではないかと考え、4年後に合併後20周年記念という形でイベントを考えています。

答え 教育長

「近現代の歴史のまとめを検討します」

町の20年の歩みや、それに至

るまでの近現代の各分野で変遷を遂げたものをまとめ、形あるものとして後世へ残していくことは、郷土への関心を高めるなど、非常に有効なものと考え、今後検討していきます。



日丹線
(丹荘駅踏切・昭和30年代)
※植竹側から撮影

管轄課と利便性向上

◆多目的交流施設内に神泉総合支所を新築?!

神泉総合支所の移転には、反対する声もあるなか、バス関係も含めて、町は多目的交流施設敷地内に移転新築を決めました。グラウンドまでも縮小する計画は、住民に寄り添った計画とは

言えません。

町の考えと、今後の管轄課について、伺います。

答え 町長

「有効な人員体制の検討と既存施設の環境を保ちます」

神泉総合支所の管理は、令和3年1月末の検討委員会の提言や、地域の実情を加味した上で、課の配置や人員等について有効な体制を検討します。

多目的交流施設は新たな地域の拠点とするべく、既存施設を最大限に活用し、経費節減に努めながら、将来につながる整備を実施します。敷地内の町営バスの発着地点とし、朝日バスの延伸について協議を進めています。

また、ステラ神泉の機能を十分に補えるような様々な活用と整備を目指し、グラウンドは、毎週使っているグラウンドゴルフの環境を保つ計画としています。

中学校校則

◆校則を議論し、

民主主義の学びへ

全国の中学、高校の中には、

厳しく管理する内容の校則があり、社会問題になっていきます。「規制してしまった方が合理的」という教師側の思いと、「学校の決まりだから仕方がない」という生徒の諦めた状況もあります。

生徒が主体となり、民主主義の学びに繋がるよう、身近な校則を議論することについて、町の考えを伺います。

答え 教育長

「懇談会の開催と時代に合う校則とします」

神川中学校の校則である「学校生活のきまり」は、年度当初に教室で読み合うなどして、生徒が校則を理解できるような機会を設けています。

今年度から、生徒会本部役員と校長の懇談会を開催し、生徒から学校生活を送る上での要望や疑問点等について活発な意見が出されています。校則改善の意見が出た場合は、生徒と教師で話し合い、時代に合ったよりよい校則をつくっていきます。



桜 沢 晃 議員

神川町総合計画に基づく町政運営

◆重点施策の達成度・評価及び今後の町政運営を問う

第2次神川町総合計画では、2018年を初年度とし、10年間の町の行政運営の方針や施策が示されていますが、現在3か年が経過し、実施計画の見直し時期となっています。また、実施計画は、毎年個々の事務事業評価を行い、必要に応じて見直しを行うなど、予算の積み上げの根拠ともなっています。

4つの重点施策「安心子育て」「適切な行財政運営」「健康長生き」「生きがいと活躍」の成果や達成度及び評価について伺います。

併せて、町の将来像「人を育ててまちが育つ未来につなぐ住み良い神川」の捉え方についても、伺います。

また、当初の総合計画ではコロナ禍による社会情勢の変化は想定されていなかったと思いますが、3年ごとの実施計画の見直しにより、施策の見直しや改善点はあったのか、及び、今後の方針や新たな取り組みについても、伺います。

住んでいて良かった、住みたくなる町にするためには、最上位計画である総合計画に基づき継続的、効果的、効率的に事業を推進することが重要です。来年には町長選挙も予定されていますが、続投の意思について、町長の考えを伺います。

答え 町長

「重点方針に基づき事業推進していきます」

「安心子育て」では、相談窓口の一元化、町内小中学校給食費無料化、丹荘保育所の整備などに取り組みました。「健康

長生き」では、毎日一万歩運動や在宅医療・介護連携の推進事業等の地域支援事業の拡充に注力しました。「生きがいと活躍」では電子図書館の導入や中央公民館のWiFiの導入などを行ってきました。また、貴重な財源を意識し、国の補助金や有利な町債の活用などを、効率的、適切な財政運営にも努め、一定の成果があったと考えています。評価は、議員の皆様や町民の皆様にも評価していただければと

思います。また、町づくりは人づくりが一番大切であると思っています。

新型コロナウイルスの影響により、地域コミュニティへの影響は大きく、今後、行政区や文化団体、スポーツ団体の問題点や課題を把握し、支援策について検討します。

なお、次期、町長選への出馬意向については、『立候補しない』と考えています。



令和4年開所予定 丹荘保育所新築工事

一 般 質 問



野口弘吉議員

町の災害対策

◆土砂災害等への対応を問う

7月3日に発生した熱海市の土石流災害では、多くの尊い命が失われ、同時に家屋などに大きな被害が発生しました。この災害は、長雨による自然災害と盛土による人為的な部分が相乗的に作用したことによって被害が拡大したと報道されています。このような大きな被害を踏まえて、町の土砂災害等への対応について、伺います。

町には、法律に基づく土砂災害警戒区域が数多く存在しますが、特に特別警戒の指定を受けている地域で、定期的に現地点検を実施し、いち早く災害の要因になり得る土砂の崩落や倒木などに気を配ることも必要と思います。地域住民に土砂災害の危険性を繰り返し周知していくことについて、町の考えを伺います。

【答え 町長】 「土砂災害への対策と周知啓発も行います」

令和3年7月、熱海市で発生した土石流災害は記憶に新しいですが、調査対象の町内8か所の大規模盛土造成地は、熱海市の盛土とは、内容や性質等、また地形的にも異なっています。町では現在、町内8か所について、国の国土強靱化基本計画

に基づき、本年度、既に大規模盛土変動予測調査を実施し、この調査結果により、来年度以降、対策を講じていきます。

住民への土砂災害の危険性の周知は、6月の土砂災害防止月間に合わせて土砂災害警戒区域を有する行政区に啓発チラシを每户配布しました。

また、現在策定している防災ハザードマップでも、土砂災害について内容掲載するとともに、来年度から埼玉県と町の連名で、

各警戒区域内の目立つ場所に周知看板を順次設置する予定となっています。

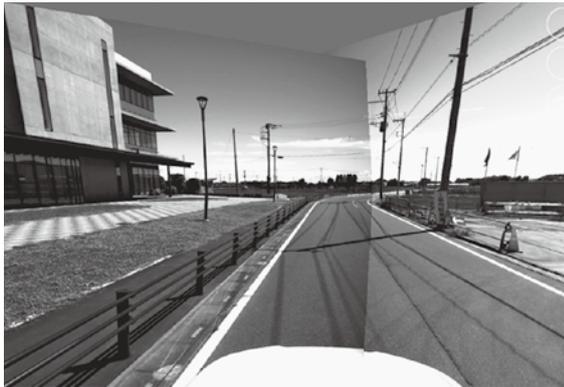
また、土砂災害訓練は、土砂災害全国統一訓練日に合わせて、毎年、県・町・消防団の情報伝達訓練や区域住民の避難訓練を実施しています。

今後、関係団体と訓練内容を検討するとともに、地域ごとに避難訓練が行われるよう、自主防災組織の設立件数を増やす取組をしていきます。





①委託業者の移動計測車両の外観



②取得した道路画像データ：役場本庁舎南側付近

町道の維持管理

◆町道整備で、安全安心 便利な町に

主要産業の農業において周辺道路を見ると、道路の傷みが多く農産物の収穫・運搬に悪影響を及ぼしています。

未舗装町道の維持管理は、町から碎石等の提供を受けて道普



坂本貴佳議員

請を行います。結果は思わしくなく、実施する地域でも様々な問題があり、実施が難しくなるとの声があります。このまま道普請を続けるのか、事業が立ち行かなくなる前に判断が必要と思います。町の考えを伺います。

また、舗装された町道でも、舗装の傷みが散見されます。舗

装の修理は住民要望と予算を照し合せ最適化を図り実施していると思います。その上で、各方面との調整を行い、自動車の通行制限・速度制限の設定・工事工法の見直し等を通じ、住民の利便性と道路の耐久性の向上を図るべきと思いますが、町道の維持管理について、町の考えを伺います。

答え 町長

「道普請への協力と 道路の長寿命化を行います」

道普請は各行政区にご協力を頂き、地域の事情に合わせた方法で実施していますが、高齢世帯の多い行政区でも可能な範囲での実施をお願いします。

また、未舗装道路の凸凹は一時しのぎの修繕が現状ですが、グレーダー等の重機による整備も実施しています。

舗装された町道のうち、主要路線は舗装維持管理計画に基づき、修繕を行い、生活道は地元の要望・職員の路面点検で、緊急性の高いところから、各路線の条件に合わせた維持修繕を実施



③町道内の橋梁点検作業

しています。また、道路の規制（通行・速度等）は、現地状況を踏まえ、関係機関と協議を行っていきます。

なお、道路耐用年数は、設計上10年が基準です。20年では費用増加の影響で改善できる道路が減少することから、10年仕様の舗装工事を行っています。

しかし、農免道路は構造物を入れ、20年維持できる仕様に取り組みます。

令和元年度策定の長寿命化修繕計画では、比較的交通量のある幹線道路を中心に順次補修、修繕を行うこととしています。

町の現状把握

◆町の現状把握を問う

町では状況を把握する手段として、次年度予算の選考対象候補が、直接報告されていますが、それですべてを担当課で把握出来ているのか疑問に思います。



廣川 学議員

中学生議会で中学生から質問に出ることなどは、以前から生徒たちが口に出していることなのに、当初予算化されず、中学生議会で質問になると、今回のように補正予算案となってきました。これは、情報収集に問題があるのではと感じます。



町広報紙令和3年9月号の中学生議会より

さらに、町長のコロナ禍での情報収集は、コロナ禍でも特に変わりはないのか、伺います。現状の情報収集は、事務的には問題がないとしても、小さな町ならではの情報収集が出来ると思います。

それが住民の負託に応え、福祉の充実や教育環境の向上となるのではないかと、町の考えを伺います。

答え 町長

「今以上の情報の精査を行います」

情報は、施設を所管する担当課所長の判断により、情報が上がってきます。コロナ禍での情報収集も、今以上に所管課所長に情報の精査をお願いしています。

中学生議会の要望については、今年度からICT授業を行い、初めて生徒から出された意見のため、今回補正予算とするものです。

答え 教育長

「学校との情報交換と新しい情報を周知していきます」

学校の情報は、月1回校長会



と教頭会で、情報交換をしています。

コロナ禍での変化については、コロナ対策、コロナ対応ですが、文部科学省などからの通知が、次々入ってくるので、遅れないように、保護者または教職員、あるいは子どもたちに向けて一番新しい情報、予防策を周知して、学校からも頻繁にやり取りをしています。

小さな町なので、校長からも専門委員会に入っている各学校の代表者からも、直接話を聞いて、こちらの考えも伝えていきます。



赤羽 奈保子 議員

町の防災・減災

◆町の避難計画を問う

ここ数年、史上最高の雨量といわれるほどの雨が各地で観測されています。神川町でも一昨年の台風では多くの方が自主避



自らの避難行動を確認

出典：内閣府ホームページ
(http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/) を加工して作成

難され、道路が寸断されるような土砂災害も起きています。埼玉県によると、要支援者名簿作成について、ほとんどの市町村で完了しているとのことですが、神川町では、その後の要支援者個別避難計画はどうなっ

ているのでしょうか。

また、マイ・タイムラインとは、災害が起きそうな時に、自分自身がとる防災行動を時系列で整理し、避難行動のための一助とするものです。広報等でマイ・タイムラインの作り方を掲載することで、防災意識を高めることにつながると思いますが、町の考えを伺います。

答え 町長

「個別避難計画は希望者全員が作成しています」

町では、平成18年12月1日から高齢者や障がいのある方など、災害時の避難に手助けを必要とする方を地域の方が主体的に支援する神川町災害時避難行動要支援者制度を運用しています。災害時に地域での支援を受けるために、あらかじめ必要な個人情報や地域の支援者、民生委員、児童委員、また、消防署等に提出することに同意した方について、個別避難計画を作成しています。現在276名が同意されており、個別計画は全員の方が作成されています。

また、マイ・タイムラインは、自分自身がとる行動を時系列的に整理したもので、避難の判断をサポートする手段として役立つとともに、活用されることで逃げ遅れ『ゼロ』に向けた効果が期待できるものです。

町では、今年度作成するハザードマップ内にマイ・タイムラインについて記載できるページを設ける予定になっています。毎戸配布やホームページの掲載により、積極的な周知を進めます。



一 般 質 問



四方田 繁男 議員

森林環境譲与税の有効利用

◆制度目的に沿った事業の実施を

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための森林整備に必要な地方財源を安定的に確保することから、平成31年4月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行されました。市町村に森林環境譲与税として交付され、間伐や人材育成、担い手の確保、材木利用の推進や普及啓発等の森林整備やその促進に関する費用に充てることになっていきます。

神川町には令和元年度に271万円、令和2年度には575万8千円の譲与税が交付され、森林経営管理意向調査委託を実施しています。

意向調査結果を基にした今後の経営管理計画を進め、また、交付額の増額が見込まれる譲与

税を、どのように森林整備等に活用していくのか、町の考えを伺います。

答え 町長

「引き続き、県や森林組合と連携して事業を検討します」

森林環境譲与税は、平成31年3月に森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が成立し、令和元年度から譲与が開始されました。

山村地域の手入れが十分に行われてこなかった森林整備、交流を通じた取り組み、間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の推進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用に充てることとなっています。

町では町内の森林を熟知している埼玉県中央部森林組合と協議しながら、森林所有者の意向調査を進め、意向調査を基に森

林所有者との合意により、今後、森林経営管理権を取得し実施する考えでいます。

森林整備で伐採した木材は、森林組合等と協議しながら、費用対効果を念頭に用途を検討し

ます。

今後も、森林組合や埼玉県寄居林業事務所と連携を図りながら、神川町に有効な事業を検討します。



矢納の森林の木材
丹荘保育所建設に活用



● ● ● 9月定例会議案一覧及び審議結果「決算関係」 ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和2年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額83億9,775万8,588円、歳出総額80億6,754万3,972円の決算を認定するもの。詳しくは「広報かみかわ10月号」をご覧ください。	△
	令和2年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額15億8,145万5,783円、歳出総額15億3,821万3,979円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1億4,337万4,621円、歳出総額1億3,447万5,195円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額12億1,163万3,996円、歳出総額11億1,430万6,973円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額2,280万5,094円、歳出総額2,231万2,696円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額2,285万2,166円、歳出総額2,196万4,799円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額1億4,692万7,660円、歳出総額1億4,143万3,023円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について 事業収益が3億1,971万7,461円、事業費用が2億7,625万3,118円、資本的収入が、144万円、資本的支出が1億2,690万4,130円の決算を認定するもの。	○
	令和2年度神川町健全化判断比率について	報告のみ
	令和2年度神川町資金不足比率について	報告のみ

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

● ● ● 9月定例会議案一覧及び審議結果「条例・契約等」 ● ● ●

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	神川町工場立地法地域準則条例 工場立地法の規定に基づき、条例を制定するもの。	○
	神川町個人情報保護条例等の一部を改正する条例 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	△
	神川町下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例 下水道事業の地方公営企業法適用に伴い、所要の改正を行うもの。	△
	工事請負契約の締結について 丹荘小学校トイレ改修工事の請負契約を締結するもの。	○
	町道路線の廃止について 町道敷地の払下げにより、町道を廃止するもの。	○
議員提出	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 詳しくは、14ページをご覧ください。	○

※審議結果 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

9月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

議案名等と主な内容		審議結果
町長提出議案	令和3年度神川町一般会計補正予算（第2号） 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、ワクチン接種事業や新神泉総合支所建設事業費など。歳入歳出各1億4,838万1千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各63億7,673万9千円とするもの。	△
	令和3年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出各2,320万円を追加し、補正後総額を歳入歳出各15億2,656万5千円とするもの。	○
	令和3年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出から各17万6千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各1億4,441万6千円とするもの。	○
	令和3年度神川町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出各9,845万7千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各12億4,564万7千円とするもの。	○
	令和3年度神川町観光事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出各300万円を追加し、補正後総額を歳入歳出各2,969万3千円とするもの。	○
	令和3年度神川町水道事業会計補正予算（第1号） 第3条予算の収益的収入に10万4千円を追加し、補正後の額を2億9,172万8千円とし、収益的支出に10万4千円を追加し、補正後の額を2億7,377万4千円とするもの。	○
	令和3年度神川町一般会計補正予算（第3号） 新型コロナウイルス感染症対策として、中小企業者等定額給付金など。歳入歳出各1,518万1千円を追加し、補正後総額を歳入歳出各63億9,192万円とするもの。	○

※審議結果 ○全員賛成（可決） △賛成多数（可決） ×賛成少数（否決）

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名称	議決等の結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		四方田繁男	桜沢 晃	田中 隆久	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	清水 敏信	堀川 光宣	柴崎 愛子	廣川 学	落合 周一	赤羽奈保子
町長提出議案	令和2年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	—	—
	令和3年度神川町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	—	—
	神川町個人情報保護条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	—	—
	神川町下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	×	○	○	—	○	○	○	—	—

○ 賛成 × 反対 — 清水敏信議長（議事進行）は採決に加わりません。
— 落合周一議員、赤羽奈保子議員は、療養のため欠席です。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 (趣旨抜粋)

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

埼玉県児玉郡神川町議会議長 清水 敏信

議会日誌

※本日誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

7月

- 1日 全員協議会
国道462号期成同盟会監査
- 15日 文教厚生常任委員会協議会研修
- 21日 臨時議会運営委員会
- 30日 全員協議会・丹荘保育所工事見学

8月

- 5日 中学生議会
- 23日 文教厚生常任委員会協議会研修
- 24日 議会運営委員会

9月

- 1日 全員協議会
- 7日 第5回定例会（一般質問）
- 8日 第5回定例会（決算説明）
臨時議会運営委員会
- 9日 臨時議会運営委員会・臨時全員協議会
第5回定例会（決算説明、補正予算説明、
条例改正等説明）
国道254号バイパス期成同盟会監査
- 14日 文教厚生常任委員会協議会
- 17日 第5回定例会（条例、決算、補正予算等
質疑・討論・採決）
- 30日 児玉広域議会定例会

今月号の表紙

「金鑽神社多宝塔（国指定重要文化財）」 (令和元年11月下旬撮影)

金鑽神社境内にある多宝塔は、塔全体の高さが13.8メートル、相輪の高さが4メートルあります。屋根は二重になっており、こけら葺きという方法で葺かれています。多宝塔は、心柱の墨書から、天文3年(1534)に武蔵七党で名高い丹党の豪族安保弾正全隆が、子孫の繁栄を祈って建立したことがわかります。

「冬桜」

(令和3年10月上旬撮影:道のオアシス神泉内)

冬桜は、10月下旬から12月上旬にかけて咲く珍しい桜で、3～5分咲きの花をもち、薄紅色の小さな八重の花を咲かせます。可憐な花びらをつけた冬桜は紅葉と相まって、格別な風情を醸し出します。

なお、神山の中腹標高約500メートルの高台にある城峯公園には、約600本の冬桜が植えられています。

スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと

「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

*** 3月定例会は、3月3日(木)午前9時から開催予定です。**

